

本所人(ほんじょじん) 速水竜一さん

今回の本所人は、5区在住の速水竜一(はやみりゆういち)さんです。速水さんは市内速水町ご出身の36歳。株式会社ラステック代表取締役で企業・団体向けの経営コンサルタントを業とされています。本所人としての経歴は6年で奥様(美保さん・令和3年12月号で紹介)と子供さんとの4人家族です。

町内会との関りは「ランタン祭り」の企画と運営で今まで地域に無かった新しい祭りとして固定化した事業となりました。現在は西コミの事業となって対象範囲を広げましたが引き続きこの事業にご夫婦で参画頂いています。



今年の4月から佐野家(江戸時代、稲場新田村の肝煎(庄屋)を務められた)の屋敷内に『見附の保育園』を開設されました。

既に地元新聞でも紹介されましたが、既存の保育園とは大きく異なる部分があります。それは「内閣府企業主導型保育事業」を基本とした保育園であることです。※提携企業の従業員の子弟を預かる企業支援型の保育園。

定員は46人、更に大きな特徴は「病(後)児保育」を行うことです(定員内6人)、見附市内ではこれの対応が出来る園はなく、病气や病後で一般保育園に通うことが出来ない子供さんや親御さんには有り難い支援ではないでしょうか。また、看護師資格を持つスタッフが世話をするので健康状態を把握出来て安心して預けることができるとのこと。

現在、本所1丁目には若い世帯の転入が目立ちます、その大部分がお勤めをされる方です。速水さんには若い起業家として本所の発展に尽くしていただきたいと願うものです。

本所今昔物語 本所と水(3)

本所堤(2)

前号で本所堤の資料が無いと掲載しましたが6区在住の野本千晴さん(元市議会議員)から情報を頂けることになり自宅を訪問させていただきました。

見附市史には野本家歴代当主が藩政時代村役などの公職に就かれたという記録はありませんが、藩に諸用金を収めたことが記録されています。

財政難の村松藩では度々藩内有力者に半ば強制的に「諸用金」を申し付けておりこれに応じることが出来ると言うことは「分限者」であった証です。藩では諸用金納付者の機嫌をとる意味を込めて藩主の長女の婚礼の折、諸用金納付者を藩庁に呼び料理を振る舞うということがありました。記録には席次表が残っていてその中に当時の野本家の当主の名前がありました。

また大正・昭和期には昭和江建設で多大な貢献がありましたがこれは次号以降で触れます。

さて当該資料ですが本所村の「古地図」でした。それは畳2枚くらいの大きさで、製作年次は記入されていませんが野本さんによれば耕地整理の時に作成したものとのことですから、朝日野宮神社の碑文からすれば大正5年(1916年)に作られたことになり実に106年前の地図ということになります。



野本家の古地図、見小と本所堤の位置関係が分ります

当時の地図が出てきたことから改めて昭和23年の航空写真を見たところ本所堤の痕跡と思われるものが見つかりました。撮影時既に本所堤は埋め立てられ田んぼになっていますが、耕地整理された田んぼの中に堤を埋めて新たに田んぼを作ったので周囲の田んぼとは区画が異なるので良く分ります。市税務課OBの話によれば公図(土地図面)の当該部分は非常に細かい筆(土地の単位)に分かれていて不思議な場所だなと思ったそうです。恐らく本所村の権利者全てが堤の底地の所有権を持っていた証拠ではないでしょうか。これで朝日野宮神社の記念碑の事実を証明出来て大変感動しています。

表紙写真『春田黎明』

5月28日午前4時41分頃、本所北児童公園付近からの日の出前の風景です。日の出前や日没後のやや青みがかった景色を「トワイライト」といい、深夜黒い空が夜明け近くなると濃青色になり、更に薄い青色に移る時間帯です。この日は4時44分に山の端から太陽が顔を出しましたが一瞬でのこの景色が一変しました。上旬に植えられた稲は順調に育ち、もう少しで水鏡は見えなくなってしまいます。

新潟町に通じる歩道では、4時を過ぎる頃から散歩する人やジョギングする人などに何人も出会いました。また、遠くは雉の鳴き声も聞えました、春の早朝は爽やかですね。

発行元

新潟県見附市「本所1丁目町内会」
担当 野水英男 TEL62-1542

かたくり 町内会だより
本所1丁目2022年
(令和4年)

8

月号

2P 総会に代わる書面議決の結果

春のクリーン作戦実施

西地区こどもまつり実施

3P 町内会主催親善ゴルフ大会結果

見附市自治功労表彰

4P 本所人

本所今昔物語

総会に代わる書面議決の結果

4月号でお知らせしたとおりコロナの流行により総会に代えて区長さん、班長さんから書面議決を頂きました、その結果は下記のとおりです。

書面議決書提出者数 74名(未定提出3名)
総会定足数 52名
よって必要数を満たしています。

令和3年度事業実施報告・決算 承認
令和4年度役員選任 承認
令和4年度事業方針・予算 承認

全ての議案が承認可決いたしましたことを報告させていただきます。

春のクリーン作戦実施



見附西地区スマイルコミュニティ主催により4月10日(日)2年ぶりのクリーン作戦が実施されました。朝8時、本所会館前におい

て佐野会長(町内会・西コミ)の挨拶の後、6人の区長さんの先導により参加者それぞれの町内に赴きゴミ拾いを行いました。幸い住宅地には目立ったゴミはありませんでしたが点在する田圃、畑には空き缶、ペットボトルなどが投棄されていました。概ね1時間で作業を終える事が出来たことは何よりでした、参加された皆さん本当にご苦労様でした。なお、主催者発表によりますと本所1丁目の参加者は140人で、西コミ全体で271人ということから本所1丁目の参加者が多いことが分ります。何時ものことながら本所1丁目の皆さんの環境意識の高さに驚かされました。次回も宜しくお願いいたします。



参加者が本所会館前に集合、この右側にも同じくらいの方がいらっしゃいます。



はりつけ獄門!

誰だっやーわーちのたんぼに投げた奴は!

6区の田圃に不法投棄された空き缶がさらし者になっていました。農家の方の怒りの声が聞えそうですね。

本所北公園から少し北上した歩道脇にもこのような空き缶が散見されました。不思議とアルコール飲料の空き缶が多いと感じました。夜、歩道で飲んでそのまま投げ捨てるのでしょうかねー。

犯人は多分大人だと思いますがどんな気持ちで投棄するのか聞いてみたいですね。それをクリーン作戦などで子供が回収するなんておかしいですよ。今回参加してくれた子供達はそんな大人には絶対なりませんね。

西地区こどもまつり実施

ランタンまつりが「西地区こどもまつり」と名称を変え、朝日野宮神社春の祭礼に合わせて5月21日に開催されました。

主催者西区スマイルコミュニティ事務局によると子供達の参加数は136人と地域の多くの小学生などが参加してくれました。記者が見たところ大人も大勢おられたので延べ参加者は250人を超えていたのではないのでしょうか。久々の屋外イベントで境内で子供達の賑やかな声を聞いて少し日常が戻った気がいたしました。

また、神社の祭礼ということもあって神社方の役員さんが社殿に詰めて御神酒をふるまい大勢の方がお参りをしておられました。氏神様は大切ですね。



6時の点灯式。境内は大勢の人で埋まりました。



竹製の灯籠、オレンジ色の灯火が人の心を和ませます。

佐野会長の合図で6時にはランタン点灯。本所会館前のテントでは西コミの役員さんが子供達へのお菓子の配付、境内では本所親和会の皆さんがアルコール飲料などの販売をしておられ大変盛況でした。皆さんご苦労様でした。

町内会主催親善ゴルフ大会結果

去る6月5日(日)下田城カントリークラブにおいて本所1丁目町内会主催本所1丁目(春季)親善ゴルフ大会が開催され3区の久保正巳さんが優勝されました。(上位入賞者6/19)

- 1. 久保正巳さん 2. 松永徹さん 3. 小林克太郎さん 4. 藤崎領さん 5. 岡田能隆さん(BG賞) 6. 武田操さん(水平賞・BG賞)

優勝者コメント

この度は優勝させて頂き、有り難うございました。今年は練習をしても調子が今一の状態が続いていたので、同伴メンバーに迷惑をかけないようにと臨みました。案の定結果はOBが1、トリプルボギーが3で、がっかりする内容でした。ところが「順位一覧表」を確認すると、OBとトリプルボギー全てがハンディホールで、幸運にも久しぶりに優勝をすることができました。次回も優勝を目指し頑張りたいと思います。幹事さん、同伴メンバーの皆さん有り難うございました。

秋季大会のお知らせ

期日10月2日(日)、場所 下田城カントリークラブ。参加をご希望の方は幹事までお申し出ください。

※継続して参加されている方には幹事から直接案内いたします。

幹事 岡田能隆(63-1962)、渡辺茂雄(63-1821)
柴嶺哲(62-1874)

見附市自治功労表彰

令和3年度見附市自治功労表彰者に本所1丁目3区在住の齋藤榮作が選ばれました。今までの活動などについてご本人にお話を伺いました。

〇社会教育・スポーツ推進審議会委員

さいとう えいさく
齋藤 榮作 さん



齋藤さんには令和2年12月号の『本所人』で登場させて頂いており、ご本人からは「何回も登場するのは恐縮である」と取材を固持されましたが、「自治功労」は別のものであるとして半ば強引に取材させて貰ったものです。なお、齋藤さんは現在75歳でいらっやいます。

(質問1)スポーツ推進審議会でのご活躍が評価されたわけですが、何年この委員をされていますか。

(答え)丁度18年になります。

(質問2)齋藤さんは複数のスポーツ関係団体の役員を務めておられますが具体的な団体名、役職名についてお答え下さい。

(答え)以前見附ソフトテニス連盟の会長を務めましたが仕事の都合で退任し、現在は見附カーリンコンクラブ、見附スポーツ健幸クラブの代表を務めております。

(質問3)「カーリンコン」という競技について具体的にどのようなものか教えて下さい。

(答え)3×10mのコート内で3人組のチームでディスクを投げて得点を競うものでカーリングに少し似たところがあります。

(質問4)過去2年間程はコロナ禍により活動が難しい状況だったと思います、齋藤さんが所属される団体ではいかがでしたか。

(答え)休止も検討しましたが会員の要望もあって3密防止、検温、除菌スプレー、マスク着用、手洗いなどやれる全てを行いました。幸いにして感染者は出ていません。

(質問5)齋藤さんご自身競技者として、本所1丁目の皆さんに対してお伝えしたいことやPRしたいことはありますか。

(答え)私が主催しているものは、児童から高齢者までの幅広い年代の方が参加できるユニバーサルなスポーツです。これに町内多数の人達が参加されることでお互いの信頼が増し、多くの仲間が出来て交流が活発になると思います。また安心・安全で「健康で生きがい」がある町内になると思っております。